

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第9号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成21年1月15日 13時20分ごろ	
発生場所	沖縄県伊江島西方沖 (概位 北緯26°43′ 東経127°43′)	
事故等調査の経過	平成21年2月9日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 りゅうなん、749トン 133775、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、南日本汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	機関長、三級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	シリンダヘッドにき裂を生じ、ターニング装置の破損	
事故等の経過	本船は、機関長ほか6人が乗り組み、那覇港を発し博多港向け航行中、平成21年1月15日13時20分ごろ、冷却清水膨張タンクから熱湯が噴出した。主機を停止して主機のターニング中、シリンダヘッドから清水の漏出を認めた。さらに、ターニングを停止しようとしたところ、ターニング装置が空回りして損傷した。主機の再始動ができず、タグボートで那覇新港にえい航された。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 燃料弁取付けボルトが折損し、シリンダヘッドの燃料弁冷却水壁にき裂が生じ、そこから燃焼ガスが主機冷却水系統に進入していた。 主機のターニングを行った際、冷却清水が燃焼室内に流入したため、インジケータバルブは開けていたが、ターニングギアに過大な応力がかかり、同ギアが欠損した可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が伊江島西方沖を航行中、シリンダヘッド燃料弁冷却水壁にき裂が生じたため、燃焼ガスが主機冷却水系統に進入したことにより発生したものと考えられる。	